

実施日：11月20日（2・3校時）	
領 域：特別活動	
取組名：糸引ワードコレクションゲーム集会をしよう	
対 象：全校生	実施場所：校舎内
ア ねらい <ul style="list-style-type: none"> <li>児童が計画や運営を行う集会等の活動において、学年や学級が異なる児童と楽しく活動し、交流を図ることで、学校生活の充実と向上を図る。</li> <li>誰とでも仲良く助け合うことができる。</li> </ul>	
イ 指導内容（指導略案）や取組の概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>企画委員会で学校全体の課題について話し合い、課題改善のための議題を考えさせる。</li> <li>決定した議題をもとに、活動や役割分担について代表委員会で話し合わせる。</li> <li>全校生で交流する機会が少ないため、様々な学年が交流できるように「ワードコレクションゲーム」を行う。</li> <li>児童が協力してゲームに挑戦し、ゲームをクリアすると文字を知ることができ、その文字を集めると一つの言葉になる。</li> <li>集会をすることでねらいに近づくことができたか、アンケートでふり返りを行う。</li> </ul>	
ウ 連携先：家庭	
エ 連携にむけての取組 <p>ワークシートなどを持ち帰り、家庭で話をする機会をつくる。</p>	
オ 組織的な取組とその点検・評価を行う上での工夫点 <ul style="list-style-type: none"> <li>ゲームでの役割についてふり返りを行う。</li> <li>低学年は高学年に助けってもらったことや楽しかったことのふり返り、高学年は低学年と周回する際に意識したことや楽しかったことのふり返りを行う。</li> <li>企画委員会でよかった点や改善点についてふり返りを行う。</li> </ul>	
カ 評価の方法 <ul style="list-style-type: none"> <li>行動観察</li> <li>各委員会の取組の記録</li> <li>ふり返りアンケート（フォーム）〔別紙②〕</li> </ul>	
キ 成果 <ul style="list-style-type: none"> <li>5、6年生の企画委員会の児童が、コロナ禍だったこともあり全校生が交流できていない現状に対して課題をもち、話し合うことで、全校生が協力して楽しめる集会を行うことができた。</li> <li>校舎内で集会を行うことで混雑するのではないかと児童の意見から、周回する順を決めておくことで全校児童が散らばるような工夫ができた。</li> <li>ゲームをするだけでなく、文字を集めるというルールを追加することで、異学年で協力し、助け合う機会を増やすことができた。</li> </ul>	
ク 課題 <p>全校集会なので、準備をする委員会の役割を分散したつもりだったが、思った以上に準備が大変だった委員会があった。司会やルール説明などは放送を使用しており、放送室からでは教室にいる児童が静かに話を聞いているのか分かりにくい場面があった。高学年に放送が入ったときには静かにすることを意識するような声かけが必要だったように思う。また、2、3時間目にわたって集会をしたが、前半の放送が聞こえにくかったようで、開始時刻が少し遅れた。そのため、あまりゲームに参加できなかった児童がいた。</p>	